

赤十字講習 主催者 の皆さまへ

～安全に講習を行うためのお願い～

1. 環境に関すること

- 十分な換気ができる会場を選定し、毎時2回以上換気してください。
可能な限り2つの方向の窓を同時に開放してください。
- 受講者同士の間隔が2m程度確保できる会場を選定してください。

2. 内容に関すること

- 受講者の実技（心肺蘇生法の実技や人と人々が接触する実技）は実施しません。
- 受講者同士及び指導員の接触時間をできるだけ短くするため、講習時間は長くても1時間程度とします

3. 受講者に関すること

- 受講者は同一地域*の方のみとしてください。（越県受講は禁止とします）
*同一市町村・職場・学校など
- 受講者はマスクの着用と手洗いを徹底し、手指消毒薬を会場に設置してください。
- 全ての受講者に別紙4「健康チェック表」の記入を依頼し、回収してください。
（別紙4「健康チェック表」については、必要枚数コピーをお願いします。）
回収した「健康チェック表」を確認し、受講条件を満たさない方は、受講させないようお願いいたします。（指導員も確認しますので、講習前に必ず指導員に渡してください）
なお、高齢者や基礎疾患を有する講習受講希望者にはご留意ください。
また、講習中に体調が悪くなった受講者が発生した場合、指導員と協議の上、中止の判断をお願いします。
- 事前に全ての受講者に別紙2「赤十字講習受講者の皆さまへお願い」の配布と説明をお願いします。講習のはじめに、受講者に対して、指導員から再度説明します。
（別紙2「赤十字講習受講者の皆さまへお願い」については、必要枚数コピーをお願いします。）
- 万が一、感染が発生した場合に備え、受講者から回収した別紙4「健康チェック表」を開催日から1ヶ月間、保管してください。
なお、感染が発生した場合は、当支部にご連絡ください。

4. 中止について

- 次の事例に該当する場合は、中止とさせていただきますので、ご了承ください。
- 講習を開催する地域の感染状況や社会情勢等により、講習の開催が不相当と判断した場合
 - 担当する指導員が、別紙5「講習実施チェックリスト」により、各項目が遵守されていないと判断した場合
 - 担当する指導員の体調が万全ではなく、他の指導員が派遣できない場合
 - 通常の講習と同様に、災害の発生及び警戒される場合